

ぐるり39

～自治調査会だより～

2017
8

NO. 047

[発行日]
2017.8.1



【写真提供・撮影場所】青ヶ島村

- ▶ 理事会・評議員会を開催しました 2
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
 - みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介... 3
 - あきる野市 自然環境啓発事業
 - 西東京市 川をきれいに！！
 - 小笠原村 自然環境に配慮した遊歩道補修整備事業
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・TAMA 市民塾 市民講師募集！ 4
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座8・9月開催予定の講座案内 5
 - ・東京雑学大学9月講義案内 5
 - ・第21回 多摩の歴史講座 武蔵武士団の盛衰 6
- ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 7
 - 郷土芸能と保存会の想いに触れる
- ▶ 編集後記 7
- ▶ とっておきスポット～“ココ”ご存じですか？～青ヶ島村... 8

Contents

8月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

理事会・評議員会を開催しました

平成29年5月に開催した理事会・評議員会で承認・決定された主な内容を簡単にご紹介します。

I. 平成28年度事業報告及び収支決算（下記の内容が承認されました。）

※下記の内容（一部を除く）は、当調査会ホームページ（<http://www.tama-100.or.jp/>）にて閲覧・ダウンロードすることができます。

【事業報告】

1. 調査研究事業

- ①市町村の広域的・共通課題についての調査研究（5テーマについて調査研究報告書を発行）
- ②市町村職員の身近な疑問等に関する調査（情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」に掲載）
- ③毎年度実施の調査（多摩地域データブック2016（平成28）年版 他3件を発行）

2. 共同事業

- ①多摩・島しょ広域連携活動助成事業
- ②多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業
- ③多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業
- ④みどり東京・温暖化防止プロジェクト
- ⑤協賛事業「愛らんどリーグ（サッカー大会）」及び「東京愛らんどフェア（島じまん）」

3. 普及啓発事業

- ①出張フォーラム実施（調査研究結果の市町村への還元）
- ②シンポジウム「未来に活かそう多摩・島しょ地域のレガシー
～東京五輪が照らす多摩・島しょ地域の可能性と展望～」開催
- ③情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」発行
- ④機関紙「ぐるり39～自治調査会だより～」発行
- ⑤自治調査会設立30周年記念事業 等



4. 広域的市民活動への支援（多摩交流センター事業）

- ①交流の場の提供
- ②広域的な市民ネットワーク活動等への助成
- ③生涯学習講座開催（TAMA市民塾との共催）
- ④多摩地域に関する情報の発信 等

【収支決算】（貸借対照表）

資産の部		負債・正味財産の部	
流動資産	140,934千円	負債の部	41,376千円
固定資産	4,577,675千円	指定正味財産	3,790,000千円
		一般正味財産	887,232千円
合計	4,718,609千円	合計	4,718,609千円

※各数値を四捨五入しているため、表内の数値の合算と合計が一致しないことがあります。

II. 評議員・理事・監事の選任

1. 退任した評議員の後任として、新たに次の方が選任されました。

清水庄平（立川市長） ・ 邑上守正（武蔵野市長） ・ 高野律雄（府中市市長） ・ 渡部 尚（東村山市市長）
澤井敏和（あきる野市長）

2. 理事・監事の任期満了に伴い、新たに次の方が選任されました。

役職	氏名
理事長	長友 貴樹（調布市長）
副理事長	河村 文夫（奥多摩町長）
常務理事	岸上 隆（東京都市長会事務局長）
理事	石森 孝志（八王子市長）
理事	小林 正則（小平市長）
理事	高橋 勝浩（稲城市長）

役職	氏名
理事	並木 心（羽村市長）
理事	丸山 浩一（西東京市長）
理事	橋本 聖二（日の出町長）
理事	前田 福夫（利島村長）
監事	石阪 丈一（町田市市長）
監事	坂本 義次（檜原村長）



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。



かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ

1 あきる野市

自然環境啓発事業

あきる野市では、市の長所である豊かな生物多様性の保全と活用に向け、生物多様性の現状を把握するための「自然環境調査事業」を実施しています。この調査は、市民ボランティアで組織する「自然環境調査部会」により行われ、調査結果は生物多様性の保全のための取組を進めていく上で、貴重な資料となっています。

市では、調査結果をもとに市民向けのリーフレット「知って守ろうあきる野の自然」を作成し、イベントや図書館で配布するとともに、市内の小学生に地域の自然を身近に感じてもらえるよう、自然体験事業の際に活用しています。

【問合せ先】あきる野市 環境政策課 TEL:042-595-1110



2 西東京市

川をきれいに!!

西東京市では、7月7日の「川の日」と8月1日の「水の日」にちなんで、身近な水環境について考える企画を2つ実施しました。

講演会「知られざる環境変化～都市河川の温暖化～」は、市主催で7月1日に開催しました。河川で起きている水温上昇について専門的に研究をされている方のお話を伺うことができました。

また、NPO等企画提案事業「石神井川クリーンアップ大作戦」は、市と市民団体（MeC 西東京）との協働事業としてたくさんの方の参加を得て7月8日に開催され、水の大切さを考えながら川に親しむ内容になりました。

【問合せ先】西東京市 環境保全課 TEL:042-438-4042



3 小笠原村

自然環境に配慮した遊歩道補修整備事業

「ボニンブルー」と呼ばれる青い海と固有の生き物がすむ森。小笠原村では、それらの自然を守りつつ持続的に利用するため、様々なルール等が設けられており、エコツアーも盛んです。

そのエコツアーで利用される遊歩道では、利用者の踏圧や降雨等の影響で土壌浸食が起きている箇所もあるため、専門家による技術指導を受けながら、村民も参加して補修しています。

補修に際しては、世界自然遺産にも登録された貴重な自然環境への負荷を極力抑えるため、現地の木材、石材を用いた「近自然工法」による施工を行っています。

【問合せ先】小笠原村 環境課 TEL:04998-2-3111





多摩交流センターだより

TAMA市民塾 市民講師募集!

【募集期間】平成29年8月1日(火)～9月15日(金)



☆TAMA市民塾とは☆

一般公募による講師とボランティア市民のスタッフ、そして塾生の協働により企画・運営される新しい生涯学習(楽習)の場として、多摩地区30市町村の全ての市民を対象に講座を開催しています。「講座はコミュニティ」を基本理念とし、塾生・講師・スタッフの相互理解と交流を深める講座を目指しています。
“教えることは学ぶこと”ユニークで楽しさあふれる講座を企画のうえ、ふるってご応募ください。

☆講座の例☆

- わかりやすいギリシア神話と聖書物語
- ゆったり、健康ヨーガ
- 初めての楽しいオカリナ
- スポーツ吹矢
- 楽しい無農薬野菜作り
- ジャズ音楽の手引き
- 初めての中国水墨画
- 散文詩を書こう読もう
- 薬剤師と学ぶ～体・心・脳の生き活きアロマ生活～
- クラシックギターの楽しみ
- ストレッチとセルフマッサージ
- 元気を引き出す足もみ健康法
- 足跡から学ぼう、女性の生涯
- 講談大学～講談で脳トレしましょう～
- 海外勤務の体験から学ぶアジアの事情
- チェスを楽しもう
- フランス語でシャンソンをうたいましょう!
- 不透明水彩(ガッシュ)で絵を描きませんか
- 毛糸のワンポイント刺しゅう
- 自己表現の手づくり本
- 古事記の樹木を訪ねる etc.

☆応募要項☆

- 応募資格** 多摩地区に在住・在勤・在学の方です。
複数の講師による講座の開催も可能です。
- 講座内容** 「講座はコミュニティ」を目指す内容であれば、分野は問いません。
(特定の政党・宗教・営利活動にかかわる企画・内容は応募不可)
- 開講場所** 原則として、多摩交流センター会議室を使用
- 開講期間** 6ヶ月コース(月1回×6ヶ月と月2回×6ヶ月)、10ヶ月コース(月2回×10ヶ月)
- 開講時期** 平成30年10月から2年分の講座を予定しています。
- 選考方法** TAMA市民塾にて、一次審査(書類)、二次審査(面談)により厳正に選考します。
- 応募方法** 公民館・市民センター等の公共施設に備えられている「市民講師募集案内」の応募用紙に必要事項を記入のうえ、郵送か直接下記へ提出してください。
詳しくは、「市民講師募集案内」またはホームページをご覧ください。

問合せ・提出先 〒183-0056 府中市寿町1-5-1府中駅北第2庁舎6階
多摩交流センター内 「TAMA市民塾」市民講師募集係
電話 042-335-0111(平日の9:00～16:00、祝日は除く)

主催：TAMA市民塾

共催：(公財) 東京市町村自治調査会

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

8・9月開催予定の講座案内

162回

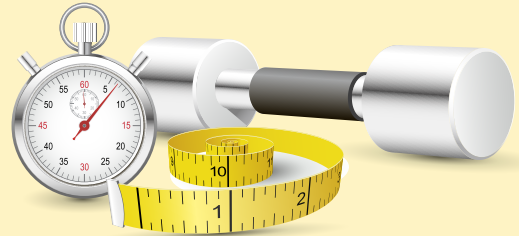
題名
物を測る

日時 平成29年8月10日(木) 14:30から約1時間

講師 水戸部 和幸 氏((株)向陽技術研究所代表取締役)

内容 物を測った値を標準として、その値を世界共通として使えるようにした功績は素晴らしいことであり、最高の芸術作品であると思います。今回は「測る」という

ことで、電気と精密機械の値の取り方、測定器による値の違い、機械の複雑な部分の精度を、どのようにして測っているかをご説明します。



163回

題名 医薬品・薬物の乱用 日時 平成29年9月14日(木) 14:30から約1時間

講師 加藤 哲太 氏((一社)日本くすり教育研究所代表理事、元東京薬科大学教授)

○受講料 無料(ただし資料代100円)

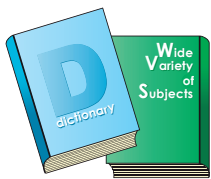
○メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)

○サテライト会場 武蔵野市かたらいの道

○ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成29年9月講義案内

(受講料: 会員は無料、会員でない方は9月14日を除き1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1101回	9月7日(木) 14:00から	幽霊の額の三角の意味	増田 美子 氏 (学習院女子大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1102回 ※	9月14日(木) 14:30から	医薬品・薬物の乱用	加藤 哲太 氏 (一社)日本くすり教育研究所代表理事、 元東京薬科大学教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1103回	9月21日(木) 14:00から	日本籍船や日本人船員減と 防衛や海賊対策など	高橋 二郎 氏 (元船長、海事補佐人、 “弁護士法人むらかみ”所属)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1104回	9月28日(木) 14:00から	環境と私たちの暮らし ~自然を友とするために~	三島 次郎 氏 (桜美林大学名誉教授、元筑波大学教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1102回は、第163回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

たましん地域文化財団・東京市町村自治調査会共催

第21回 多摩の歴史講座

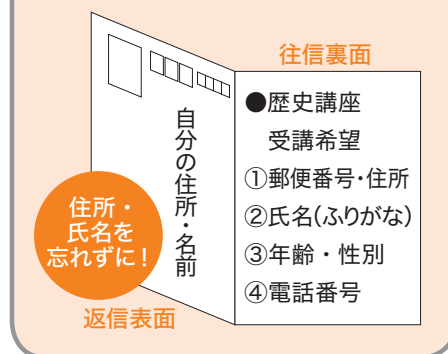
武蔵武士団の盛衰

武蔵武士団とは、平安時代後期から鎌倉時代・室町時代にかけて活躍した武蔵国各地の同族的集団の総称です。坂東八平氏、あるいは武蔵七党などと呼ばれ、鎌倉幕府の礎をきづく原動力となりました。幕府成立後は要職にあつて政治に参画し、承久の乱以降は新補地頭となって全国へ移住していきました。室町時代になると、武士団が結びついて白旗一揆、平一揆などの国人一揆を結成しました。

本講座では、武蔵武士団の誕生から鎌倉・南北朝・室町期の動向、また考古学や板碑研究もふまえて、その盛衰を追究します。

- 場 所 多摩信用金庫府中支店4階会議室(京王線府中駅南口2分)
- 参加費 無 料
- 申込方法 記入例を参考に往復ハガキで一人様1枚でお申込みください。
- 申込締切 平成29年9月4日(月) 当日消印有効
- 定 員 100名(定員を超えた場合抽選となります。)
- 申 込 先 〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階
多摩交流センター内「多摩の歴史講座」係
- お問合せ 《講座内容について》たましん地域文化財団 TEL042-574-1360
《お申込みについて》多摩交流センター TEL042-335-0100

〈はがき記入例〉



第1講

「武蔵武士団の誕生」

10月2日(月) 13:30~15:30

講師:鎌倉 佐保 氏
(首都大学東京教授)

第4講

「南北朝期の武蔵武士団」

11月6日(月) 13:30~15:30

講師:田中 大喜 氏
(国立歴史民俗博物館准教授)

第2講

「考古学研究の立場から
武蔵武士団をみる」

10月16日(月) 13:30~15:30

講師:浅野 晴樹 氏
(埼玉県立嵐山史跡の博物館学芸員)

第5講

「室町期の武蔵武士」

11月20日(月) 13:30~15:30

講師:湯浅 治久 氏
(専修大学教授)

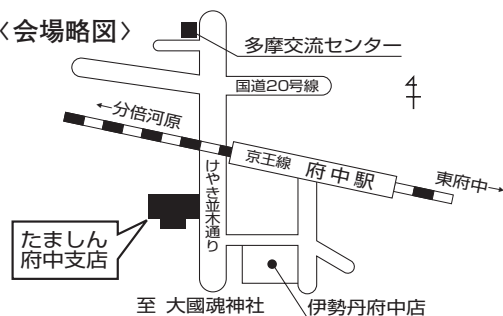
第3講

「板碑にみる武蔵武士」

10月30日(月) 13:30~15:30

講師:伊藤 宏之 氏
(台東区教育委員会)

〈会場略図〉



※隔週開講しますが、第4講は第3講の翌週になります。 ※今回は、5講とも座学です(見学会は行いません)。

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

檜原村 郷土芸能と保存会の想いに触れる

実施日 ①9月2日(土)・②9月9日(土)・③9月16日(土)

④9月17日(日)いずれも14:00～22:00予定

場所 檜原村内の各集落の祭り会場
(集合・解散は武蔵五日市駅)

内容 ①獅子舞・囃子・式三番 ②獅子舞・神代神楽
③獅子舞・神田囃子 ④獅子舞・太神楽・囃子
(いずれも変更の可能性あり。詳しくは下記問合せ先へ)

都指定無形民俗文化財にもなっている檜原村の郷土芸能について、解説付きの見学会を開催します。参加者はJR武蔵五日市駅に集合のち会場となる集落へ移動し、各地域の郷土芸能を観覧します。後日、参加者の中から希望者を募り、各郷土芸能の保存会長等との交流会も開催します。

参加費 1回につき3,000円(1回の参加のみでも可)

主催 檜原学芸社

問合せ 檜原学芸社 担当 熊野・小澤

TEL:042-598-6928(NPO法人フジの森 内)

E-mail:hinohara-gakugeisha@outlook.jp



「多摩交流センターだより」の問合せ先

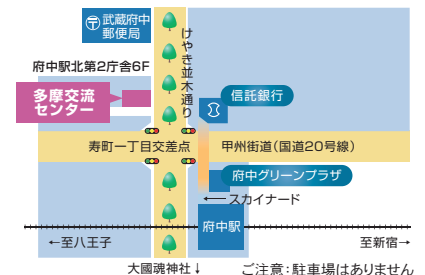
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

○ 8月に入りました。暑いが続いています。この季節によく耳にする言葉の一つに「猛暑日」があります。一日の最高気温が35℃以上の日のことをいいます。

猛暑日と関連して、よく紹介される地名として、埼玉県熊谷があげられます。

○ 熊谷市のホームページによれば、熊谷の夏がなぜ暑いかについて、二つの理由が考えられるとしています。

一つは、フェーン現象により、上空の西風が秩父の山を越えた後に吹き下りるときに、風下側の熊谷付近に流れ込んで気温を上昇させるとしています。

もう一つは、日中に吹く「南よりの風」が東京などの大都市を通過する間にどんどん温められて、熊谷付近まで来た頃にはとても熱い風になっていることによるもので、「ヒートアイランド現象」が影響を与えていると考えられるとしています。

○ ヒートアイランド現象は、熱中症の発生など、人々の健康面にも大きな影響を与えており、東京消防庁が公表している資料によれば、平成23年～27年の5年間(各年6月～9月)に熱中症により救急搬送された人は合わせて2万人を超え、いずれの年も7月、8月の発生が多くなっています。

○ 各自治体や企業が行っているヒートアイランド対策の代表的なものとしては、緑の創出(屋上緑化・壁面緑化、学校の校庭の芝生化)や道路の保水性舗装などがあげられますが、こうした取組のほかにも、家庭や地域で身近に取り組めることを一人一人が心がけ、実践していくことが大切であり、また、効果的です。

エアコンの温度を一定に保つ、植物を育て自宅や地域のみどりを増やす、マイカー利用を控え電車やバスなどの公共交通や自転車を利用する、打ち水を行うなど、身近に取り組める方策は数多くあります。

○ 当調査会では、関係団体と連携して、市区町村の担当部署の協力の下、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を実施しているところですが、今後とも、各担当部署のご意見等も踏まえながら、地域で身近に取り組める事業・施策の普及・拡大に努めてまいりたいと考えています。

○ 日常の生活や行動に工夫をこらし、夏の暑さにも負けぬよう、健康的で地球環境にやさしい日々を過ごしましょう。

(S.K)



とっておきスポット

第35回 青ヶ島村

“ココ”
ご存じ
ですか?

青ヶ島村といえば、星空を連想するかもしれないけど、
今回はわたげのボクが「池之沢の自然」を紹介するよ。

丸山と池之沢一帯

青ヶ島は、世界でも珍しい二重カルデラの地形をしているんだ。カルデラの中央にあるのが、丸山という内輪山なんだよ。「池之沢」は、約2000年前に形成された、外輪山に囲まれた場所なんだ。天然の壁に守られた肥沃な耕作地だったから、絶海の孤島でも、食料の調達に困らなかったんだって。

ただ、今から約230年前の1780年の天明の大噴火の際は、「池之沢」が溶岩や火山灰で覆われて、島民は八丈島への全島避難をせざるを得なくなったんだ。島民たちは、幾多の苦難を乗り越えて、1835年には故郷の復興を成し遂げたんだよ。

オオタニワタリ群生

オオタニワタリは、日本では見ることの少ない南方系のシダ植物なんだ。島のいたるところで見ることができるけど、特に「池之沢」一帯に群生しているんだよ。島特産の「青酎」は、このオオタニワタリに付着した自然麴を利用して作られているんだって。

「池之沢」には、地熱を利用した「サウナ」もあるから、散策をした後に汗を流すのもオススメだよ。みなさんもぜひ、ふわっと行ってみて!

【現地案内】

◎青ヶ島へのアクセス

青ヶ島へは、都心からの直行便がないため、八丈島経由となります。

《航路》

竹芝桟橋から八丈島まで、「大型客船」(東海汽船)で約11時間
八丈島から青ヶ島村まで、「あおがしま丸」(伊豆諸島開発株式会社)で約3時間

《空路》

羽田空港から八丈島空港まで、飛行機(ANA)で約55分
八丈島から青ヶ島まで、ヘリコプター(東邦航空株式会社)で約20分

【情報・写真提供】 青ヶ島村産業観光課 TEL 04996-9-0111(代表)



【発行日】平成29年8月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。